



# 木曾川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2018年3月11 (日) 930~1200 (晴)

参加者 一般：4名 (うち子ども1名)

指導員：3名

## テーマ 「春の兆しを感じよう！」

この時期、「春らしさ」は花、植物の芽吹き、動き始める虫、鳥のさえずりなどで感じられます。川原の柳の枝も?緑色が目立つようになり、ウグイスやヒバリの囀りが流れる中、去年の観察会で花が16種記録されていたので、今回20種を目指して回ることにしました。

まずは駐車場に植えられたアメリカハナノキの赤い花です。花をルーペで見ると2つにわかれた柱頭があり、雌花であることが分かりました。折角なので、比較のためタワー南東のハナノキも見ましたが、まだ蕾でした。しかし、蕾の大きさ、枝ぶりなどアメリカハナノキと在来のハナノキの違いが分かりました。

高水敷ではオオイヌノフグリ、タネツケバナ、ニホンタンポポ、トサミズキ、イヌナズナなどの花が見られました。

また、1月に埋められたキツネの巣穴は、その後に掘った開跡が認められ、キツネがまだ、近くにいることがうかがわれます。堤防ではモンキチョウやベニシジミが飛び、蝶の中間が動き出したことが分かりました。

大野極楽寺公園の森では参加者がクイタダキを見つけ、教えてくれました。下から見上げたので、頭の菊模様をしっかりと確認することはできませんでしたが、尾の先端がM字状でメジロとは違っていました。

林を抜けるとヒヨドリが地上に降りてタンポポの花をついばみ、丸ごと飲み込んでいました。しばらく見ていると2個目を食べ、また他にも花を食べているヒヨドリもいました。途中、鳥につつかれたヤブツバキの花が見られましたが、ヒヨドリはいろいろな花を食べるものなのですね。138タワーパークのもくもくパラダイスの林に50羽程度のイカルの群が止まっていたのですが、オオタカが飛来した時、羽音をたてて一斉に飛び立つところが見られました。

この日、回って見られた花は目標の20種を上回る24種で、十分春らしさを感じることができた観察会となりました。(報告：齋竹)

<観察できたもの> 花：アメリカハナノキ、ソシンロウバイ、オランダミミナグサ、コハコベ、ミドリハコベ、ミチタネツケバナ、タネツケバナ、イヌナズナ、ノゲシ、ニホンタンポポ、セイヨウタンポポ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、ノジスミレ、トサミズキ、ヤブツバキ、ウメ、ボケ、ユキヤナギ、サンシュユ、ネコヤナギ、アオスズメノカタビラ 鳥：ツグミ、ヒヨドリ、ヒバリ、シジュウカラ、エナガ、カワラヒワ、ウグイス(声)、ムクドリ、キジバト、スズメ、コゲラ、シロハラ、クイタダキ、メジロ、モズ、ホオジロ、アオジ、トビ、ノスリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ジョウビタキ、ハクセキレイ、イカル、オオタカ 虫：モンキチョウ、ベニシジミ(成虫、幼虫)、キタテハ、ナナホシテントウ、イラガ(繭)、ハラビロカマキリ(卵囊)、 その他：アメリカザリガニ



(アメリカハナノキの花を観察中)



(アメリカハナノキ雌花)



(ノジスミレ)



(モンキチョウ)



(花を啜えたヒヨドリ)